



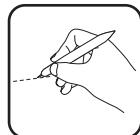
用意するもの

- はさみ ●カッターナイフ ●アートナイフ ●定規 ●先のとがったもの (千枚通しやキリ) ●のり (木工用や合成ゴム系接着剤) ●まるい棒 (編み棒やえんぴつ)
- サインペンや絵の具 ●ピンセット ●つまようじ ●工作用マット など



1.切る

キリトリ線(黒い実線)にそって、はさみやカッターを使って部品をていねいに切りはなします。はさみよりも紙を動かして切るときれいに切ることができます。

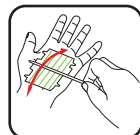


2.折る

部品を切りとる前に、あらかじめ先のとがったもので山折り線(-----)谷折り線(——)をなぞり、折リスジをつけておきます。



折リスジにそって一度完全に折りまげ、しっかりと折リクセをつけておきます。紙の切り口が白くめだつ場合、同じ色のサインペンなどでぬります。



3.曲げる

まるみをつける部分は、切りとった部品を手のひらや指の上などに置き、まるい棒でしごいてまるみをつけます。組み立て図の( )の部分でまるみをつける部分です。



4.貼る

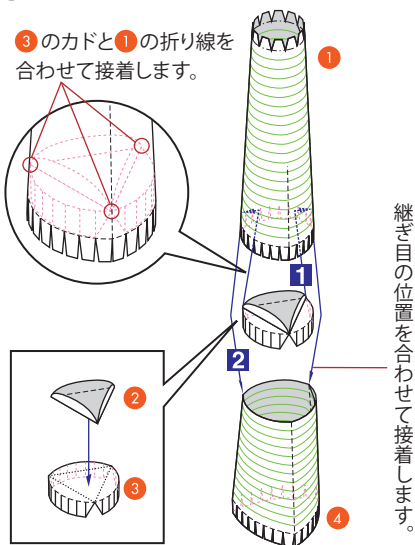
のりづけする前に、組み立て図や完成写真をよく見て一度どんなカタチになるのか仮組みしてみます。ここで切り忘れや折り忘れもチェックします。まちがいをなければ、のりしろ(★印の面)に、つまようじなどを使って接着剤をうすくていねいにぬります。すこし乾くまで指などで押さえておきます。こまかい部分はピンセットを使って押さえると便利です。あせらずに、ゆっくりていねいに組み立てるのがコツです。

1～4の順に、それぞれ1から接着して組み立てます。順番通りでないと組み立てにくい部分があります。

※図中の は紙の裏側を表しています。

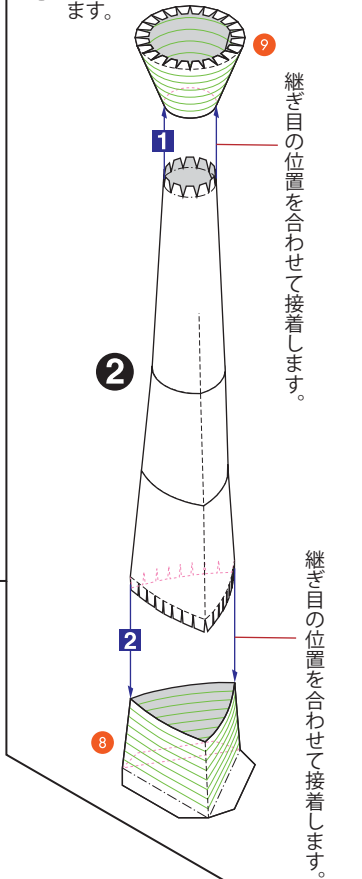
1 ていねにまるみをつけて組み立てます。

3のカドと1の折り線を合わせて接着します。



継ぎ目の位置を合わせて接着します。

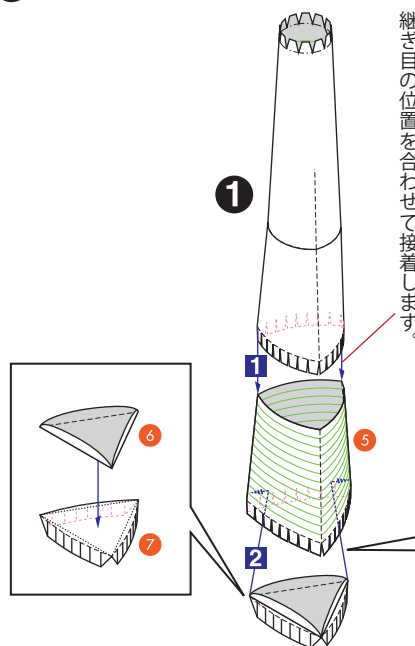
3 ていねにまるみをつけて組み立てます。



継ぎ目の位置を合わせて接着します。

継ぎ目の位置を合わせて接着します。

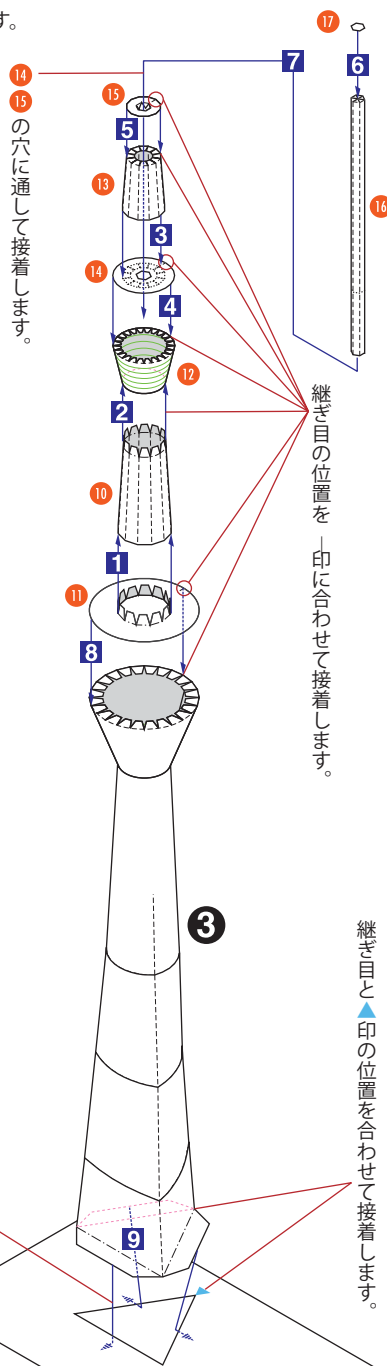
2 ていねにまるみをつけて組み立てます。



継ぎ目の位置を合わせて接着します。

7のカドと5の折り線を合わせて接着します。

4 取りつけ順序を間違えないよう、よく確認してから接着します。



継ぎ目の位置を印に合わせて接着します。

継ぎ目と印の位置を合わせて接着します。

開口部を通して、のりしろをひろげて接着します。